

九州ブロッククラブネットワークアクション 2018in くまもとプロジェクト
第7回スタッフミーティング議事要旨

日 時	平成30年5月21日（月）午後4時から午後5時50分
場 所	くまもと県民交流館パレア「パレアルーム」
参加者	住吉・山田・西島・林田・齋藤・北園・松本（スタッフ7名） 永田・太田黒（事務局2名）

《議事内容》

1 開会

2 挨拶

- ・齋藤プロジェクトリーダーから挨拶

3 報告（資料P1参照）

（1）前回ミーティングの確認事項について

- ・4月16日（月）に実施した第6回スタッフミーティングにて意見が出た内容について、事務局から確認事項を報告した。
- ・謝金の上限額は、共通プログラムを含めて総額7万9,000円とのことだった。
- ・旅費の上限額はないが、公共交通機関の実費支給とのことである。
- ・副実行委員長は、開催県から選出してはどうか前回協議し、学識経験者でもある本協議会長田会長を本県から推薦する。
- ・後援依頼は全て日本スポーツ協会から直接それぞれの機関に送付される。
- ・参加対象者について、学生・企業関係者であっても「傍聴」「視察」は全て参加と見なし、事業実施協力金の支払が必要とのこと。
- ・今年度のtoto創設支援クラブ及び自立支援、クラブマネジャー設置支援クラブは14クラブとのことだった。（九州ブロッククラブネットワークアクション2018は出席が必須）

4 議事

（1）「九州ブロッククラブネットワークアクション2018in くまもと」プレイベント研修会について（資料P2）

①事業内容及び予算について

- ・資料P4～7のとおり、開催要項及びチラシ、申込書について事務局から説明。
- ・予算について、収入及び支出8万円で計上している旨説明。

②当日スタッフの動静について

- ・当日の役割及び担当、準備物について決める必要がある旨説明及び確認。

③事業実施内容について

- ・パネルディスカッションの発表クラブの確認及び発表者の説明。
- ・参加者同士の意見交換をどのように行うか協議いただく必要がある旨説明。

④その他

- ・6月23日に長崎県の浅井常任幹事及び長崎県田原クラブアドバイザーが来熊予定である旨報告。

—協議の結果—

◇当日スタッフの役割分担については下記のとおり決定。

- ・受付（林田・松本） ・司会（住吉） ・写真、マイク（山田）
- ・ファシリテーター（齋藤） ・PC操作補助（北園） ・記録（西島）
- ・その他必要に応じて当日対応可能な理事を配置する。

◇発表者の時間がわかるように準備物にタイマーを追加。また、参加者がワークしやすいようにワークシートを配付する。

◇進行方法として、当初8テーマ発表を終えてグループワークを行う想定であったが、より内容を整理して考えやすいように、1テーマ話す毎にグループで話し合う「1個1個片

付け型」の進行方法を採用する。

◇グループは予め「クラブマネジャー・事務局」「会長や理事等役員」「指導者」のグループに分けておく。松本氏が申込書取りまとめ後、SCS 事務局の永田・太田黒で振り分けを行う。（※1 グループ4～5名程度）

◇・1 テーマ10分発表→グループで10分話し合い（①もっと聞きたかった事②自分のクラブではこういったことをしている等のアイデア出し）→5分でワークシートにまとめる。※これを8テーマ繰り返す。トータル1テーマ25分以内。休憩は取らないため、話し合いもしくはまとめの時間等の中で各自判断する。

◇参加者へのアンケート調査の中で、どういうところが良かったかという前向きな意見やもっとこうすればいいというアイデアを書いていただく。

◇九州ブロッククラブネットワークアクション 2018in くまもとに向けた「プラスな雰囲気終わる」を意識した内容とする。

（2）九州ブロッククラブネットワークアクション 2018in くまもと実行委員会について

- ・7月6日（金）に予定している実行委員会について事務局より説明。
- ・議題は九州ブロック常任幹事の浅井氏に確認しながら進めることを確認。
- ・議事後の情報交換について、九州各県から代表者が集まる機会は今回か九州ブロック当日しかないため、有意義な会になるよう意見をいただきたい旨説明。

—協議の結果—

◇「ネットワークアクション」という名のとおり、クラブ同士がネットワークをアクションにつなげることができるように、各クラブの情報を1つのホームページを開けば九州ブロックのクラブの連絡先等が分かるようなネットワーク化を考えてもいいのではないかと意見あり。

（3）「九州ブロッククラブネットワークアクション 2018in くまもと」開催について

①開催内容及び予算について

- ・日程等決定事項の確認及びテーマについて意見聴取。

②当日スタッフについて

- ・本協議会加入クラブ（60クラブ）から各1名以上のスタッフ動員を依頼したい旨説明。
- ・スタッフへの依頼は本協議会から行う。
- ・当日業務を検討する必要がある。（第11回全国スポーツクラブ会議 in 熊本なんか参照）
- ・スピンオフ企画について、県内クラブで担当を受け持ちたいクラブがあるか意見聴取し、いない場合は一般社団法人 Fan&Fit に依頼する方向で合意形成。

③参加者の宿泊及び来場に係るアクセスについて

- ・宿泊料金について、下記の価格となった旨説明。※1泊朝食付き

1人1部屋利用：（変更前）11,000円→（変更後）9,500円

2人1部屋利用：（変更前）8,000円→（変更後）7,000円

3人1部屋利用：（変更前）8,000円→（変更後）7,000円

4人1部屋利用：（変更前）7,000円→（変更後）6,000円

5名以上の利用：要相談

- ・通常の熊本市内からのアクセスが、現在地震の影響がありバスか乗用車のみとなる。
- ・やまびこ号が1日8本運行しているが、予約ができない区間となるため、参加者へのアクセスを考える必要がある旨説明。

④その他

- ・スタッフウェア等検討。

—協議の結果—

◇テーマについては下記案とする。

「ネットワークからアクションにつなぐ～ネットワークがネットワークになっているの?～」

◇ネットワークアクションの後につなげることをテーマにし、「メリットの創出」を目指す。

◇他ブロックや支援金をいただいたクラブ等、また行政・企業・大学関係者に対しては、本協議会から直接案内を送る。大学については、大学のゼミ等に送らなければあまり効果がないため、6月23日（土）の研修会時に大学関係者とつながりがあるクラブを尋ね、そこから周知していく。

◇参加受付及び宿泊・情報交換会・バスについては下記のとおりとなる。

- ・参加者については日本スポーツ協会が行う。
- ・宿泊及び情報交換会については本プロジェクトスタッフの松本氏が行う。
宿泊費は当日チェックアウトの際各自ホテルに直接支払うようにする。情報交換会費は、1日目に受付を別途設け、本県で受付を行い、取りまとめてホテルに支払う。
- ・県外参加者に対するバスの手配について、県内クラブでバスを持っているクラブに協力を要請し、熊本駅からと熊本空港からのアクセスを手配する。（別途徴収金：片道 1,000 円）バス利用についても、取りまとめは松本氏が行う。

※バスが手配可能なクラブ：クラブ南阿蘇、高 SP0、NP0 法人 A-life なんかん等

- ・当日の司会及び共通プログラム「障がい者スポーツ」に関するワークについてファシリテーターが必要である。（今後候補者を検討）
- ・情報交換会でのイベントについて、本県からのお土産抽選会や PR 動画コンテストを行う。情報交換会の司会については高 SP0 の高森にわかを案とする。

◇2次会については、ホテル内の座敷で行うが、会場にて1人2,000円徴収する。

◇2日目について、9時30分に一度全体会場に集まっていただき、10分程度会場案内などガイダンスを行ってから各ブースに分かれていただく。その際本県スタッフを各会場に誘導する係を設置する。

◇参加者へのバスについては、1人あたり片道1,000円別途徴収する方向で手配する。

5 その他

6 閉会

